

公共図書館における音響特性と音響快適性について
Acoustic Characteristics and Acoustic Comfort
in Public Libraries

学籍番号：201621597

氏名：伊川 真以

Mai IKAWA

日本における公共図書館の音環境は、図書館以外の施設が合築されている複合型図書館の増加などにより、音環境は「静かな環境」から「ある程度音がある環境」へと変化しつつある現状である。しかし公共図書館の音への関心は寄せられているものの、図書館の音環境に関する調査研究は実施されていないという現状にある。また、利用者からの音に関するクレームが寄せられているという問題も存在しており、図書館の音環境の改善は求められている状況である。そこで本研究は、日本の公共図書館の音環境の実態把握の一環として、公共図書館における音響特性と音響快適性について明らかにすることを目的とする。

調査方法は、日本の公共図書館である北茨城市立図書館と八千代中央図書館を対象とし、①館内の音の賑やかさを測定する等価騒音レベルの測定、②図書館利用者への音響快適性の質問紙調査を行った。

調査の結果として、日本の公共図書館における音響特性である音圧レベルと音響快適性には相関は見られず、さらに利用者が快適であるとする館内のエリアと音圧レベルも相関が見られないという結果であった。調査結果から、図書館の快適な音環境を構築するためには音圧レベルは関係がないということが考えられる。本研究は、今後の快適な公共図書館の音環境づくりに寄与することができたと期待したい。

今後の課題としては、平均等価騒音レベルと音響快適性に優位な差がみられるようにするために、調査対象館のサンプル数を増やす、対象館選定規準の見直しなどの考慮が必要であると考えられる。

研究指導教員：逸村 裕

副研究指導教員：寺澤 洋子